

青松同窓会 70周年記念 寄付事業

〈主旨〉

附属天王寺中学校創立70周年、附属高等学校天王寺校舎創立60周年を契機に、青松同窓会70周年記念事業として、母校への寄付支援を行う。“この誇りを次世代に”をテーマに事業活動を進める。

〈目的〉

母校の教育環境の整備、特に老朽化したクラブ部室棟の新築建て替えを支援し、その他、教育環境の充実を図る。クラブ部室棟の新築費用は主に教育後援会資金を充当するが、その不足分を支援する。

〈目標額〉 3,000万 ～ 5,000万円

〈寄付事業の形態〉

大阪教育大学が設置する「特定基金（大阪教育大学附属学校園支援事業基金）に個別（個人または法人）寄付金を入金する。「特定基金」に期限は設定されないが、本事業は青松同窓会70周年記念総会（平成32年6月予定）までの3年間の活動とする。寄付者は青松同窓会会員に限らない。寄付金は母校の教育環境の整備に活用されるが、具体的な用途は、大阪教育大学と母校との協議により決定される。「特定基金」への寄付は税控除の対象となる。

〈寄付事業の周知と寄付者の表彰〉

会報、HP その他の広報媒体及び募金推進委員を通して青松同窓会会員に周知する。同窓会に「寄付事業推進委員会」を設け、周知の徹底及び寄付事業の推進を図る。寄付者は本人の了解を得たうえで、会報、HPに掲載する。高額寄付者は同窓会総会において表彰する。

〈寄付の方法〉

大阪教育大学の特定基金が指定した口座に寄付者が個別に寄付金を振り込むことにより寄付行為を行う。税控除のための寄付金受領書は教育大学から直接寄付者に送付される。

〈寄付行為における税法上の優遇措置〉

寄付金については個人ならびに法人についても税制上の優遇措置を受けることができる。なお優遇措置は個人、法人によってその内容が異なる。